

# 気象キャスターの方々と交流

水資源機構が管理する施設は、降雨などの気象情報をタイムリーに把握し、必要な用水補給のための施設操作や洪水時の防災操作を行っています。

一方、テレビで日々報道される天気予報に出演される気象キャスターの方々は、予想される各地の気象情報をタイムリーに分かりやすく報道されています。

いずれも住民生活や社会経済活動を毎日支える大切な役割を担っており、水資源機構では、相互に担う役割や知見を高め理解を深めるべく、各地で気象キャスターの方々との交流を重ねています。

吉野川本部では、4月23日に香川県で活躍される気象キャスターの方々と早明浦ダムと池田ダムにお招きし、施設が担う役割やその大切さを紹介しながら、相互に意見交換する交流会を開催しました。

今回は、夕方のニュース番組でキャスターとして活躍されていますNHK高松放送局の田井杏佳気象予報士とKSB瀬戸内海放送の斎藤康之アナウンサーに参加いただきました。

は、4月26日の夕方のニュース番組内で交流会に参加されたことや視聴者に感心を寄せていただけるよう、早明浦ダムの現在の貯水率と1年前の貯水率について選択クイズを出され、視聴者からの投票が1566件もありました。

水資源機構では、これからも気象キャスターの皆様方と連携し、交流を各地で重ねることにより、多くの方々に機構が担う役割や施設の大切さを分かりやすく伝えることができるよう努めてまいります。



見学の様子(早明浦ダム)

最初は、高知県にある四国最大の水瓶「早明浦ダム」を見学していただきました。

まず、管理所に勤務する職員から早明浦ダムが担う役割や施設の操作、治水機能を向上させるため放流設備の増設などを行う「早明浦ダム再生事業」の説明をした後、ダム内部の点検通路をたどりながら、様々な観測や点検などを行っていることを紹介し、実際のダム管理を体感いただきました。

次に、吉野川の水を必要とする地域に安定的に届けるため四国の要の役割を担う「池田ダム」を見学していただきました。

池田ダムでは、徳島県、香川県に届ける必要水量をもとに池田ダムでゲート操作を行い、一定の水位になるように調整することや早明浦ダムからの補給指示など、年間を通じて24時間体制できめ細かい管理を行っ



見学の様子(池田ダム)

ていることを紹介しました。

さらに、吉野川から香川県に水を届けるための香川用水を取水口から香川県側の香川用水記念公園内にある東西分水工、湯水時に備え水道用水を確保する調整池「宝山湖」まで訪ねていただき、お二人が活躍される香川県に水が届けられる仕組みを紹介しました。

参加いただいたお二人とも終始熱心に説明を聞かれ、地域の住民生活や社会経済活動を支えるため、機構が担う役割や施設の大切さを深く認識いただきました。

KSB瀬戸内海放送の斎藤アナウンサーは、早速、放送局のホームページにて、交流会に参加されたご感想と視聴者に伝えるニュースに活かしたいとのご感想を述べていただきました。

また、NHK高松放送局の田井気象予報士

## オンライン交流会

NPO法人気象キャスターネットワーク(以下WCN)の方々と機構職員と双方で知見を高め、意見交換するため、今年も6月17日に本社主催による「オンライン交流会」を開催しました。

交流会では、洪水時におけるダム・水路などの機構施設による防災機能の紹介や利根導水の利水操作を紹介しつつ、最近よく聞く「線状降水帯」「ゲリラ豪雨」など気象現象も話題にし、双方の知見やより伝わりやすい情報提供について意見交換させていただきました。今後、WCNの皆様にも機構業務に触れていただく機会として、所管水系毎の施設見学会&意見交換会などを行う予定です。



### 水資源機構の職員



### 気象キャスターネットワーク

